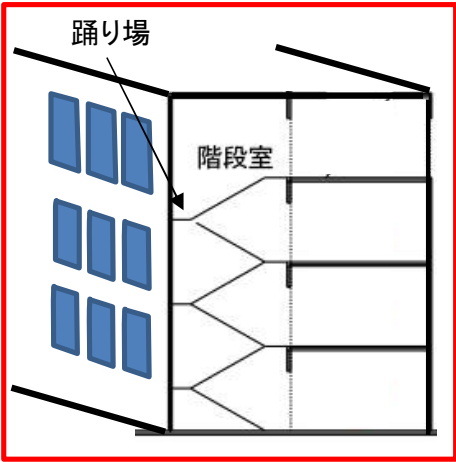
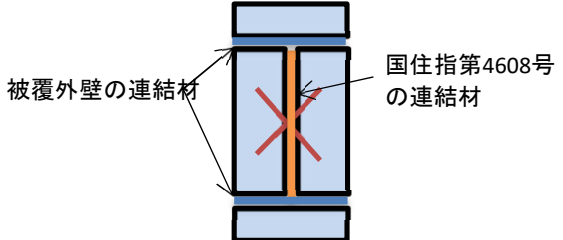
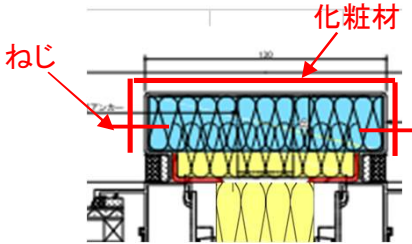
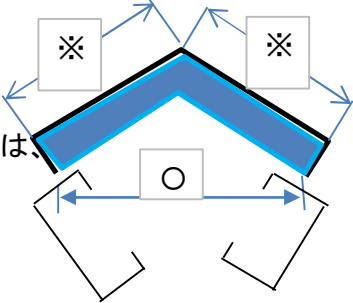
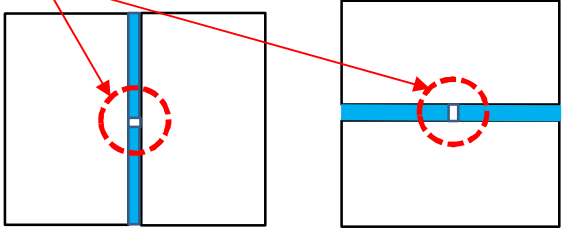
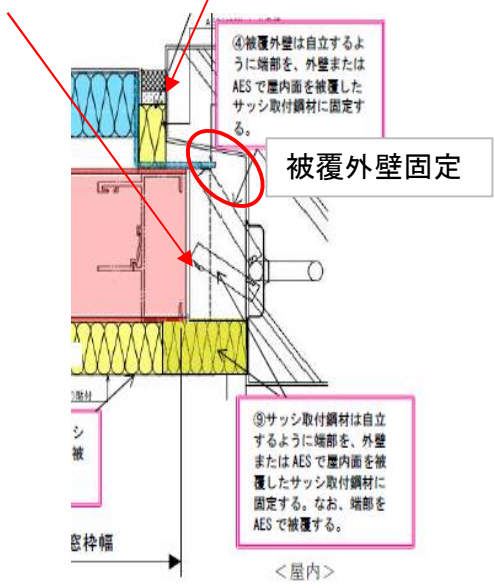


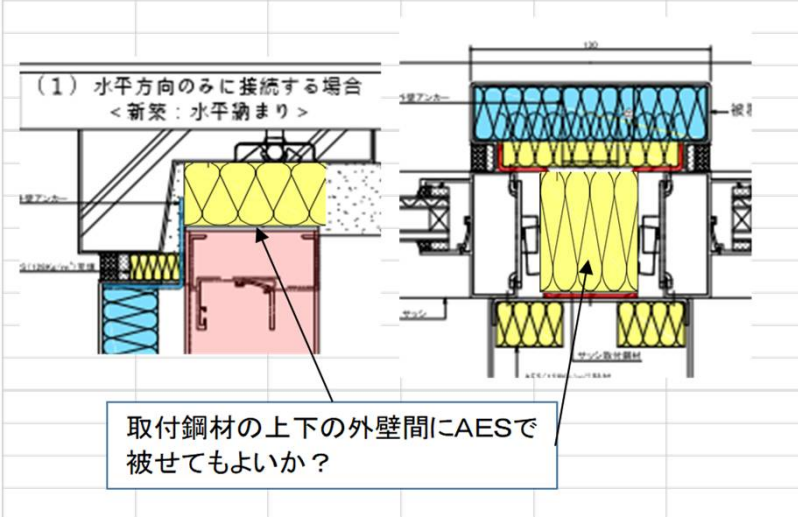
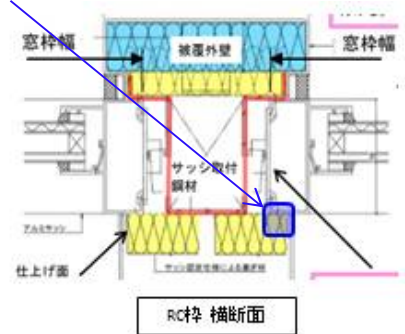
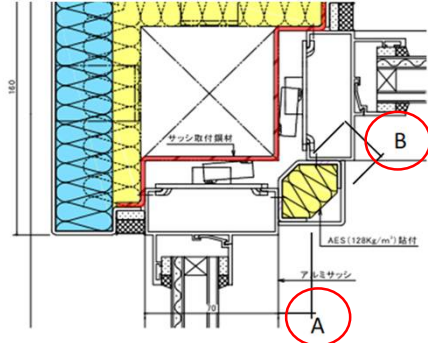
吹付けロックウール被覆外壁(FP060NE-9305)を用いた防火設備の連結マニュアル Q&A

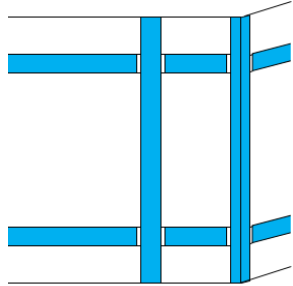
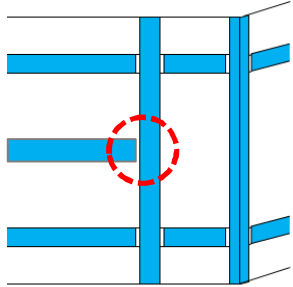
本Q&Aは、令和2年6月発行した「吹付けロックウール被覆外壁を用いた防火設備の連結マニュアル」の円滑な運用のため、上がった質問に対し見解書を作成しました。本連結マニュアルの適切な運用に向け、ご活用願います。

| No. | 項目 | 質問 | 見解 |
|-----|---------|--|---|
| 1 | 2. 適用範囲 | 被覆外壁を用いた連窓の制限はありますか。 | 連窓数の制限はありません。 |
| 2 | 2. 適用範囲 | 層間をまたがないとされていますが、階の高さに制限はないのですか。 | マニュアルでは、階の高さの制限はしていません。階の高さの概念として4m～6m程度の一般的な階高を想定しております。 |
| 3 | 2. 適用範囲 | 層間をまたがないとされていますが、階段室の外壁で階界に設置する場合はどのように扱うのですか。 |  <p>層間をまたがないことは、高さを制限する考えです。階段室は、層間をまたぎますが、例外として上下の踊り場間に設置することは可能です。</p> |
| 4 | 2. 適用範囲 | 本マニュアルで垂直または水平に連結した防火窓を、国住指第619号におけるCWの開口部に組込んで使用することは可能ですか。 | メタルCWのスパンドレル部(腰壁)の構造は、本マニュアルで規定している外壁には当たらないので、対応できません。プレキャストコンクリートCW(1時間耐火以上のもの)への取付は可能です。 |
| 5 | 2. 適用範囲 | 国住指第4608号の連結材を、段窓・連段窓の場合、無目間に用いてもよいですか。 | <p>現在の知見では、組込むことはできません。</p>  <p>被覆外壁の連結材</p> <p>国住指第4608号の連結材</p> |

| No. | 項目 | 質問 | 見解 |
|-----|--------|---|--|
| 6 | 3. 用語 | 吹付けロックウール被覆外壁パネル(FP060NE-9305)のロックウール吹付施工は、工場施工でよいですか。 | 工場施工又は現場施工のどちらでも構いません。 |
| 7 | 3. 用語 | 被覆外壁をカバーする化粧材を、被覆外壁にねじ固定しても構わないですか。  | 化粧材でカバーすることはできますが、本マニュアルの被覆外壁に固定することはできませんので、外壁やサッシ取付鋼材等に固定してください。 |
| 8 | 3. 用語 | AESのメーカー指定はありますか。 | メーカー指定はありませんが、密度を確保願います。また、AESを貼り付けて被覆する場合、呼び厚さ25mm以上としてください。 |
| 9 | 3. 用語 | 鋼材の板厚はJISに基づく許容差を含む板厚で考えてよいですか。 | JISの呼び板厚で判断してください。 |
| 10 | 3. 用語 | AESの呼び密度130kg/m ³ は使用してよいですか。 | 許容差の最低密度が、マニュアルの規定値に入っていれば問題ありません。 |
| 11 | 3. 用語 | 用語に定められる建具改修工法に用いる「下地材」は、大臣認定によるとなっておりますが、樹脂の下地材でもよいですか。 | 防火設備の認定仕様に含まれる不燃材料としてください。 |
| 12 | 4. 共通 | AESの取付は、どのような場合に必要なのですか。 | AESは、鋼材を遮熱する場合(被覆)と防火設備等の空隙を塞ぐ(充填)の場合に必要になります。 |
| 13 | 4. 共通③ | 被覆外壁は見付50mm以上となっておりますが、防火設備との掛かり代の制約はありますか。 | 被覆外壁との取り合いは、防火設備の認定仕様によります。 |
| 14 | 4. 共通③ | 右図のような緩い角度で構成された出隅パネルの見付は、○寸法で考えてよいですか。  | パネルの見付は、90度コーナーと同様の押さえ方とし、角度の頂点から見付寸法※を確保してください。 |

| No. | 項目 | 質問 | 見解 |
|-----|------------------|---|---|
| 15 | 4. 共通④ | <p>被覆外壁を長手方向で分割してもよいですか。</p>  | <p>分割は不可です。</p> |
| 16 | 4. 共通④ | <p>被覆外壁の固定部の被覆は必要ですか。</p> | <p>被覆外壁の固定部もAESでの被覆が必要です。ただし、被覆外壁と外壁の空隙部をAES充填し、かつサッシ取付鋼材の端部の屋内側をAESで被覆している場合は、固定部の被覆と同等に扱えます。</p>  <p>④被覆外壁は自立するように端部を、外壁またはAESで屋内面を被覆したサッシ取付鋼材に固定する。</p> <p>被覆外壁固定</p> <p>⑤サッシ取付鋼材は自立するように端部を、外壁またはAESで屋内面を被覆したサッシ取付鋼材に固定する。なお、端部をAESで被覆する。</p> <p>シ 被</p> <p>窓枠幅</p> <p><屋内></p> |
| 17 | 4. 共通⑤ | <p>「被覆外壁はサッシ取付鋼材に900ミリ程の間隔、または中央1カ所留め付ける」について、ねじれ等が気になる場合もっと間隔を狭めて留め付けても良いですか。</p> | <p>ねじ留めの間隔を狭めることはできません。例えば、2100mmの場合は、端部から900mm(+)900mm(+)300mmの間隔で、各ねじ留め位置(+)でねじ2本(両側)で留めることになります。</p> |
| 18 | 4. 共通⑥ (3)(b) | <p>被覆外壁と空隙を防ぐAESにて充填の場合に、厚さの制限はありますか。 (参考納まりに25mmと明記ある箇所と無い箇所あり) (躯体－被覆外壁間も制限なし)</p> | <p>充填部は厚さの規制はありません。被覆部は25mmの厚さが必要です。所定の厚さを確保してください。被覆使用のAESは遮熱性確保のため、内部カバー材等でのつぶしての使用はしないでください。</p> |

| No. | 項目 | 質問 | 見解 |
|-----|--------|---|---|
| 19 | 4. 共通⑨ | <p>取付鋼材の端部はAESで被覆する要求ですが、端部をAESで充填してもよいですか。</p>  | <p>取付鋼材の上端をAESで充填してもよいが、加えて要件のサッシ取付鋼材の屋内側端部は、AESで被覆してください。</p> <p>なお、本マニュアルでは、AESの被覆と充填を使い分けていますので、ご注意ください。</p> |
| 20 | 4. 共通⑩ | <p>仕上げ面で、防火設備とサッシ取付鋼材の間をAESで塞ぐこととなりますが、屋内側でのAESの掛かり代の制約はありますか。</p>  | <p>掛かり代の制約はありませんが、隙間が発生しないよう被覆してください。</p> <p>仕上げの下地アングルがある場合は、AESでアングルまで被覆してください。</p> |
| 21 | 4. 共通⑪ | <p>室内側のAESの厚さ押さえはA寸法でいいですか。</p>  | <p>Bの厚さが25mm確保してください。</p> |

| No. | 項目 | 質問 | 見解 |
|-----|-------------|--|---|
| 22 | 4. 共通 5) | 内部のカバー材に関する記載がありませんが、特に材質(不燃)や板厚の制約はないですか。 | 被覆外壁の連結部は壁扱いとなります。内部カバーを用いる場合は、内装制限の規定に従ってください。 |
| 23 | 4. 共通⑩ | RC枠横断面における内外部AES被覆の代わりに、サッシ取付鋼材ーアルミ縦枠間を「モルタル」又は「吹付ロックウール」などの不燃材料で塞ぐことは可能ですか。 | 認定仕様により、隙間を充てんする要求です。認定にモルタル、ロックウールがある場合、充填で対応可能です。 |
| 24 | 4. 共通⑩ | 被覆外壁に防火設備を固定しても良いですか。 | 被覆外壁の認定仕様にはありませんので、被覆外壁への防火設備の固定はできません。 |
| 25 | 4.(3) | <p>水平方向と垂直方向を接続する場合、どちらを通しにしたらよいですか。</p>  | 水平方向と垂直方向の接続での被覆外壁は、サッシ取付鋼材と同様に縦通しとしてください。 |
| 26 | 4.(3) | <p>水平方向と垂直方向を接続する場合、右図の○印部分も可ですか。</p>  | 可です。 |